

【Ⅱ 調査結果の概要】

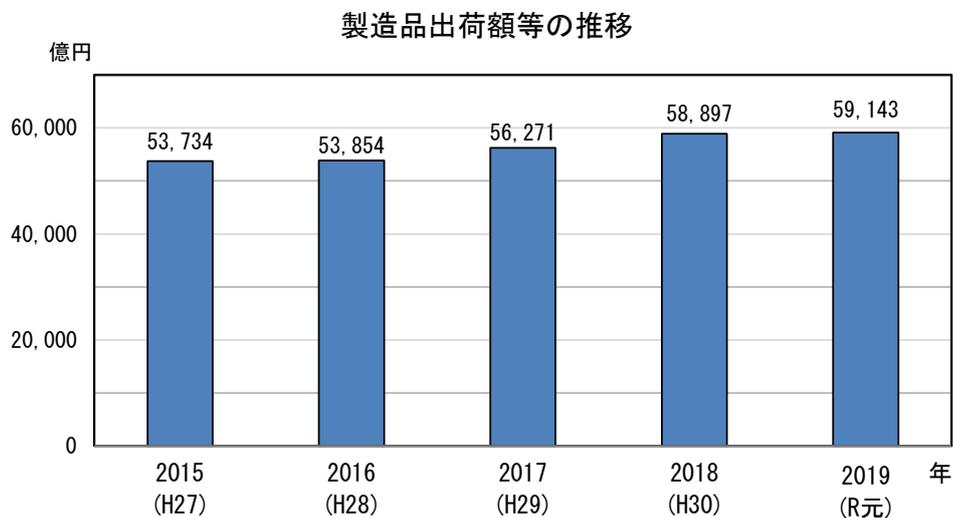
1 概況

2020年の概況は次のとおりである。

- ◎ 事業所数は、5415事業所で、前年に比べ72事業所減少（前年比△1.3%）した。
- ◎ 従業者数は、20万3537人で、前年に比べ1092人減少（同△0.5%）した。
- ◎ 製造品出荷額等は、5兆9143億円で、前年に比べ246億円増加（同0.4%）した。
- ◎ 付加価値額は、2兆253億円で、前年に比べ814億円減少（同△3.9%）した。

※ 従業者4人以上の製造事業所について、集計・分析を行ったものである。

※ 事業所数、従業者数は2020年6月1日現在の数値、
製造品出荷額等、付加価値額は2019年1年間の数値である。



※2015（平成27）年は、「平成28年経済センサスー活動調査」の数値である。

※過去の本調査結果やその他の統計資料は、県のホームページでご覧いただけます。

トップ>分類でさがす>県政情報>統計>統計情報>工業統計調査

<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/10612.html>

2 事業所数（従業者4人以上）

- ① 事業所数は5415事業所で、前年に比べ72事業所減少（前年比△1.3%）している。（表-1）
- ② 産業別にみると、「金属製品製造業」が714事業所（構成比13.2%）と最も多く、次いで「窯業・土石製品製造業」が690事業所（同12.7%）、「生産用機械器具製造業」が555事業所（同10.2%）となっている。（表-3）
- ③ 従業者規模別にみると、従業者4～9人区分の事業所が1937事業所（構成比35.8%）と最も多く、次いで「10～19人」が1394事業所（同25.7%）となっており、この2区分で全体の61.5%を占めている。（表-5）
- ④ 圏域別にみると、岐阜圏域（構成比27.4%）、中濃圏域（同26.0%）、西濃圏域（同20.4%）、東濃圏域（同19.8%）、飛騨圏域（同6.5%）の順であった。（表-7）

図-1 主な産業別事業所数（従業者4人以上）

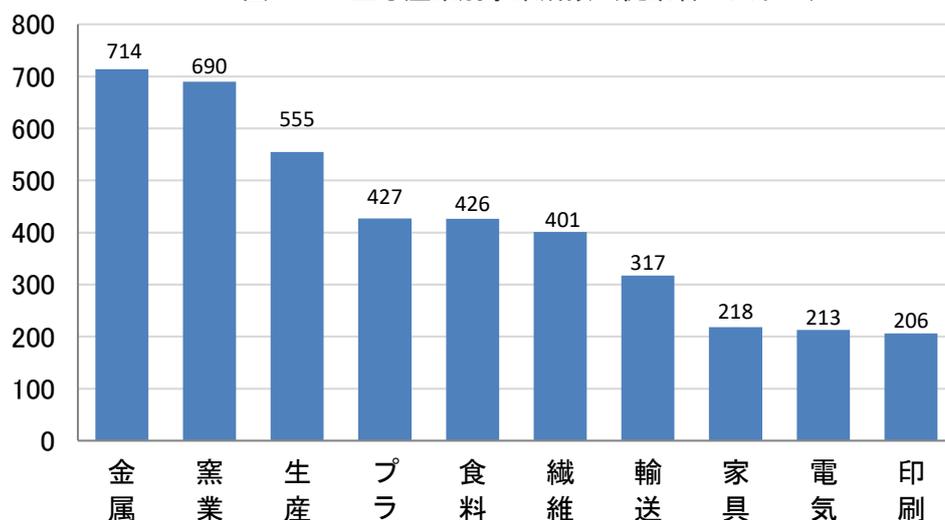
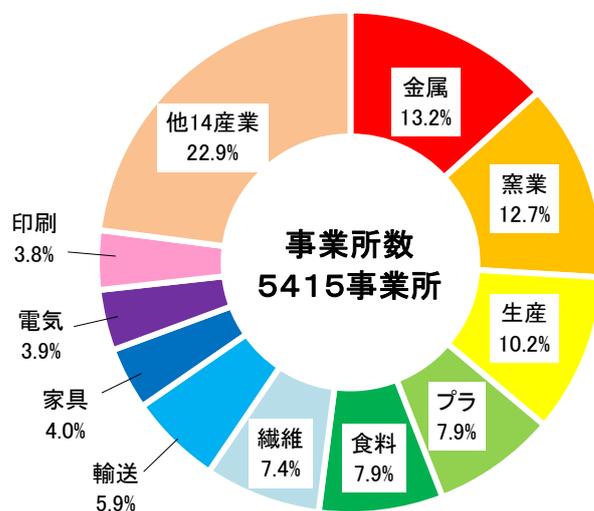


図-2 産業別事業所数の構成（従業者4人以上）



3 従業者数（従業者4人以上）

- ① 従業者数は20万3537人で、前年に比べ1092人減少（前年比△0.5%）している。（表-1）
- ② 産業別にみると、「輸送用機械器具製造業」が3万3866人（構成比16.6%）と最も多く、次いで「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が1万9443人（同9.6%）、「金属製品製造業」が1万9258人（同9.5%）となっている。（表-3）
- ③ 従業者規模別にみると、「100～299人」が5万3235人（構成比26.2%）と最も多く、次いで「30～99人」が5万1982人（同25.5%）となっており、この2区分で全体の51.7%を占めている。（表-5）
- ④ 圏域別にみると、中濃圏域（構成比28.6%）、岐阜圏域（同25.4%）、西濃圏域（同22.5%）、東濃圏域（同18.2%）、飛騨圏域（同5.3%）の順であった。（表-7）

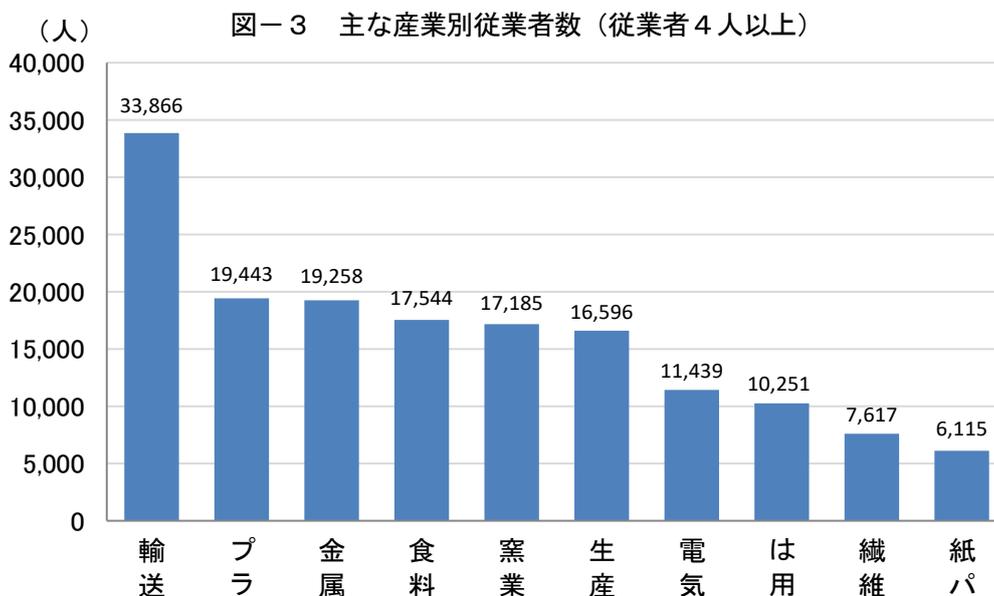
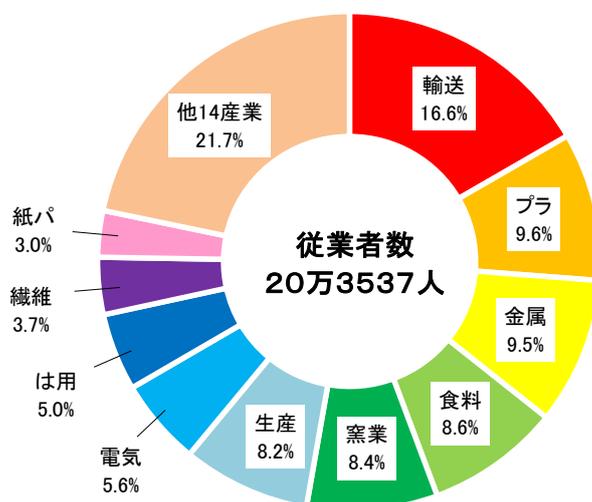


図-4 産業別従業者数の構成（従業者4人以上）



4 製造品出荷額等（従業者4人以上）

- ① 製造品出荷額等は5兆9143億円で、前年に比べ246億円増加（前年比0.4%）している。（表-2）
- ② 産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が1兆1578億円（構成比19.6%）と最も多く、次いで「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が5313億円（同9.0%）、「生産用機械器具製造業」が5116億円（同8.7%）となっている。（表-4）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域が1兆7234億円（構成比29.1%）、岐阜圏域が1兆4426億円（同24.4%）、西濃圏域が1兆4327億円（同24.2%）、東濃圏域が1兆501億円（同17.8%）、飛騨圏域が2655億円（同4.5%）の順であった。（表-8）

図-5 主な産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

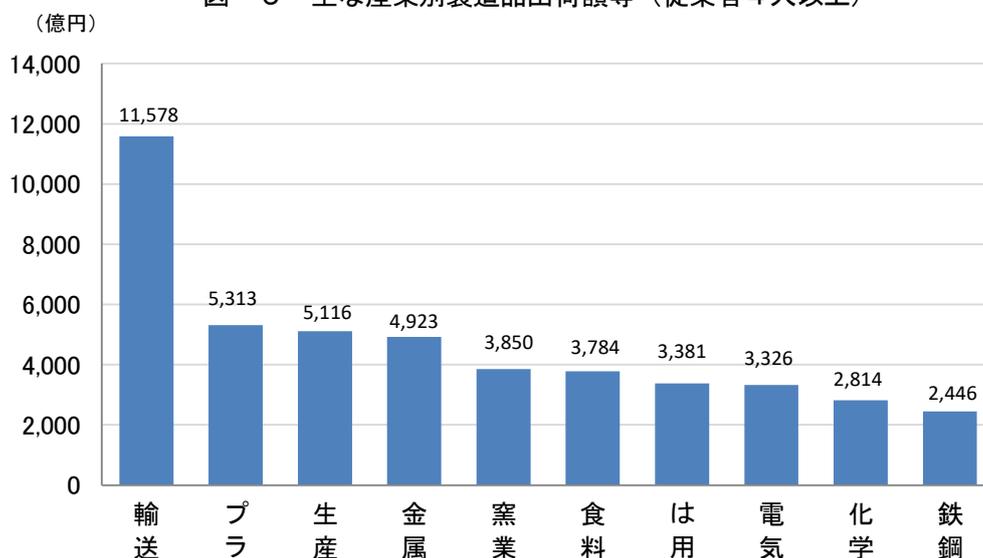
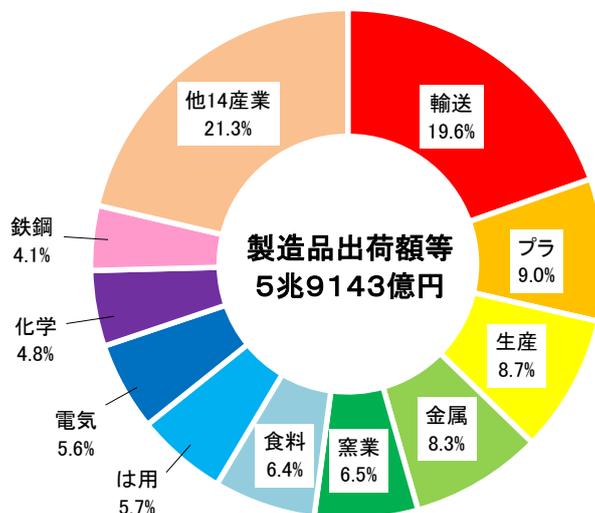


図-6 産業別製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



5 付加価値額（従業者4人以上）

- ① 付加価値額（従業者4～29人の事業所については粗付加価値額）は2兆253億円で、前年に比べ814億円減少（前年比△3.9%）している。（表-2）
- ② 産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が2932億円（構成比14.5%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が1975億円（同9.8%）、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が1881億円（同9.3%）となっている。（表-4）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域が5751億円（構成比28.4%）、西濃圏域が5158億円（同25.5%）、岐阜圏域が4733億円（同23.4%）、東濃圏域が3477億円（同17.2%）、飛騨圏域が1134億円（同5.6%）の順であった。（表-8）

図-7 主な産業別付加価値額（従業者4人以上）

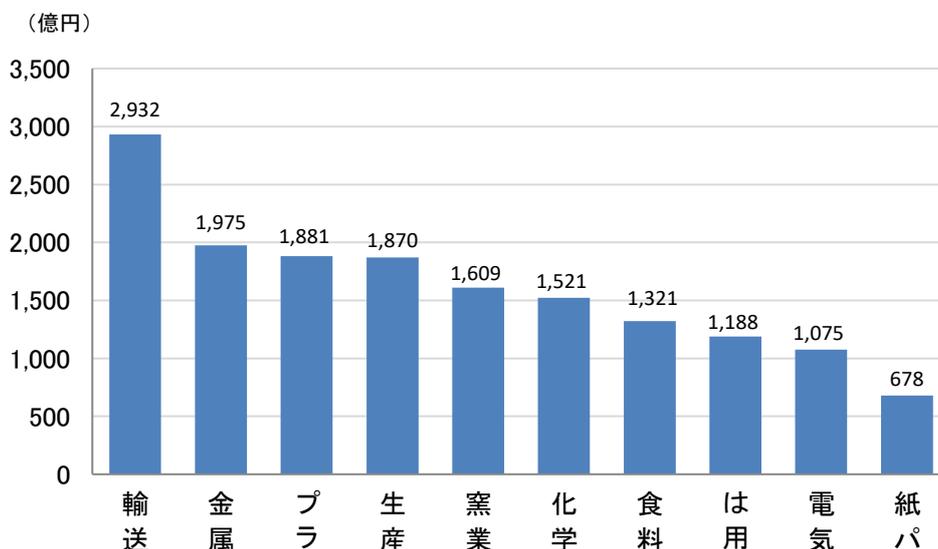
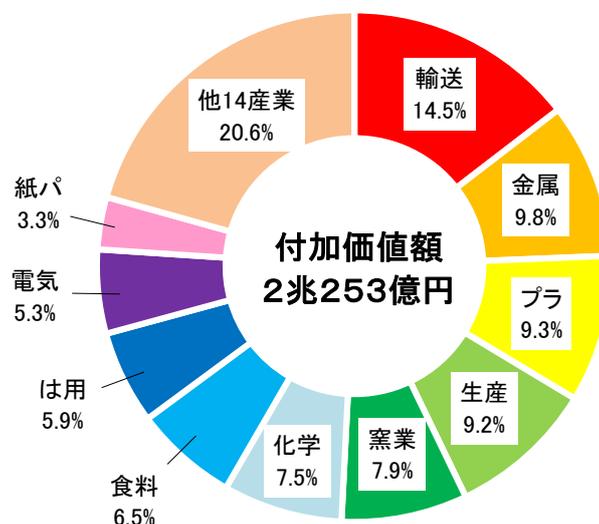


図-8 産業別付加価値額の構成（従業者4人以上）



6 圏域別にみた事業所数、従業者数、産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

【岐阜圏域】

事業所数は1482事業所で、従業者数は5万1650人である。

製造品出荷額等は1兆4426億円で、産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が5036億円（構成比34.9%）と最も多く、次いで「食料品製造業」が1199億円（同8.3%）、「生産用機械器具製造業」が1026億円（同7.1%）などとなっている。

【西濃圏域】

事業所数は1102事業所で、従業者数は4万5741人である。

製造品出荷額等は1兆4327億円で、産業別に構成をみると、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が2090億円（同14.6%）と最も多く、次いで「輸送用機械器具製造業」が1504億円（同10.5%）、「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が1308億円（構成比9.1%）などとなっている。

【中濃圏域】

事業所数は1408事業所で、従業者数は5万8231人である。

製造品出荷額等は1兆7234億円で、産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が3181億円（構成比18.5%）と最も多く、次いで「生産用機械器具製造業」が2432億円（同14.1%）、「金属製品製造業」が2227億円（同12.9%）などとなっている。

【東濃圏域】

事業所数は1073事業所で、従業者数は3万7134人である。

製造品出荷額等は1兆501億円で、産業別に構成をみると「輸送用機械器具製造業」が1776億円（構成比16.9%）と最も多く、次いで「窯業・土石製品製造業」が1591億円（同15.2%）、「電気機械器具製造業」が1294億円（同12.3%）などとなっている。

【飛騨圏域】

事業所数は350事業所で、従業者数は1万781人である。

製造品出荷額等は2655億円で、産業別に構成をみると、「化学工業」が646億円（構成比24.3%）と最も多く、次いで「家具・装備品製造業」が364億円（同13.7%）、「食料品製造業」が323億円（同12.2%）などとなっている。

（表－7，8）

図－9 圏域別製造品出荷額等（従業者4人以上）

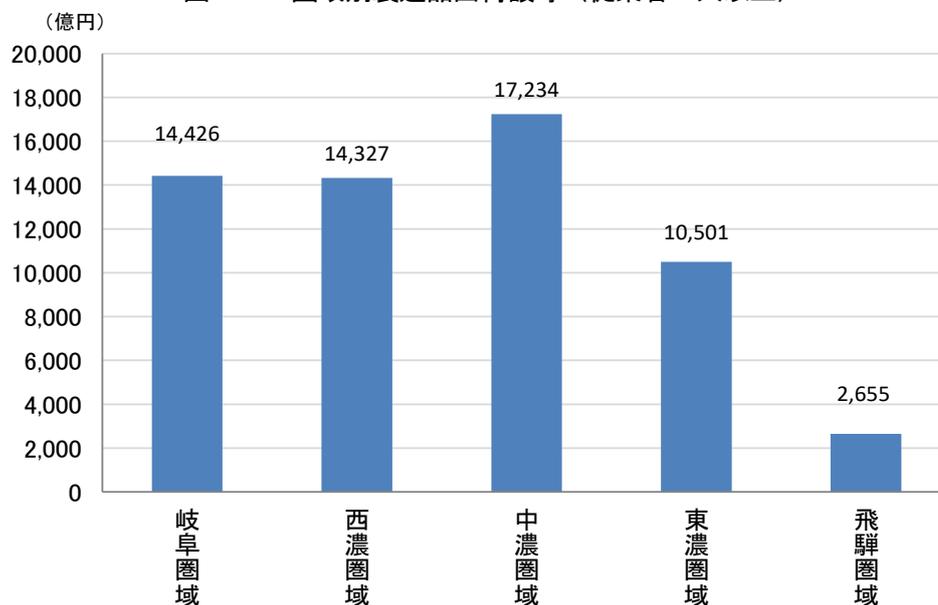


図-10 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業者4人以上）

